



道 第 20 号  
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 殿

大牟田市長 古賀道雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼がありましたことについて  
別紙のとおり回答します。

## 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### ①【有明海沿岸地域の道路ネットワークの確立】

有明海沿岸道路は、本市の各種プロジェクトを支える重要な事業で、平成20年春には大牟田北IC～大牟田IC間の供用が予定されており、地元の期待は益々高くなってきている。

一方、有明海沿岸地域の発展には、道路ネットワークの確立が不可欠であるとの認識から、大牟田以南の熊本県側並びに大川市以北の佐賀県側へのアクセス性の強化を要望します。大牟田市内においては、大牟田IC～三池港ICまで、延長約2km区間の早期供用を要望します。

また、早期着工、早期完成に向け、関係自治体との連携のもと、地元としての更なる協力体制の強化を図ります。

#### ②【通勤、通学等などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備】

生活幹線道路の整備については、大牟田市役所より北へ約3kmに位置し、交通事故が多発している国道208号の草木交差点の工事に着手していただいています。

大牟田高校等の通学路として利用されている道路であり、交差点改良とあわせて歩道の整備も計画されています。

国道208号については、交通弱者といわれる方々の安全性の確保を図るうえからも、整備が必要な交差点が見受けられますので、草木交差点以外の主要な交差点についても安全施設の整備をお願いします。

## 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

### ①【事業ごとの評価の徹底】

道路政策に限らず、「限られた予算で最大限の効果を発揮する」ためには、無駄を排し効率化を徹底する必要があります。道路政策において特に重視すべきこととして「事業の開始前や途中段階で必要性をチェックするなどの事業ごとの評価を徹底する」ことが重要です。

事業の推進のためには、関係者の協力が必要となるため、計画段階からその事業の必要性、緊急性、重要性など十分な検討はもとより、市民への周知と意見の反映を行うことが重要であるとの認識を痛切に感じています。

### ②【市民参画による道路維持管理】

平成 18 年 12 月に発足しました「福岡県幹線道路協議会道守分科会」は、地域住民と道路管理者の「連携・協同」が重要となっていることから、道守活動を通じて沿道の住民の方々がボランティア活動に参加していただき、道への関心を高め、親しまれる道とすることを趣旨として設立されています。

大牟田市内でも国道 208 号においては、2 団体の方々が既に清掃活動等をなされています。

本市におきましては、決して強制的ではなく、よりたくさんの方が自発的に参加していただき、道守活動の参加の輪を広げていきたいと考えており、このことがコスト縮減にも一定の効果が図られるものと考えています。

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見。

本市においては、「有明海沿岸道路」を筆頭に「三池港」、「九州新幹線」の整備が、市民に目に見える形で急ピッチに進められていますが、景気回復による税収の大幅増が期待できる大都市部と、財源そのものが乏しい地方とはその格差が拡大する傾向にあります。

地方の道路行政は都市部と比較すると、整備水準が極めて低く、都市間を連結する幹線道路の整備は緊急の課題です。

そのような中、やはり「道路特定財源」はこれまで以上に必要であると考えます。

また、国道のみならず、県道、市道も使える財源の確保をお願いします。

今後もこの財源の確保を強く要望し、地方の声として聞き取っていただきたいと思います。